

## 昔のひとのくらしのあとをさぐる（校区の主な遺跡）

### ■菅江遺跡（奈良時代／菅江）

奈良時代前半から中頃の須恵器を焼いた半地下式の登り窯1基と、灰や焼き損じを捨てた場所が2カ所みつかりました。菅江遺跡は市内で須恵器の窯跡として初めて調査された遺跡です。出土品には大型のものはほとんどなく、中型製品が大半でしたが、バラエティーに富んだ種類の須恵器が出土しています。



珍しいドーナツ型の須恵器

### ■北方田中遺跡（奈良～平安時代／北方）

奈良時代末期の掘立柱建物、平安時代の掘立柱建物、溝や門、鎌倉時代の井戸、道路などが出土しました。倉庫や土間がある建物、庭が三面につく格式の高い建物が含まれ、南北方向に整然と並んでいました。井戸からは“水が永遠に満つる” “疫病を封じ込める”などの願いを込めた3点のお札が見つかっています。



掘立柱建物跡（北方田中遺跡）

### ■伝大原時綱の墓（鎌倉時代／加勢野光明院／市指定）

近江の守護大名佐々木氏から分かれた大原氏は本市場に居館を構えました。光明院は文永元年（1264）大原時綱の発願で現在地に移転、開山されました。完形の宝篋印塔で、寺伝では時綱の墓とされます。



伝大原時綱と一族の墓

### ■伝京極満信の墓（鎌倉時代／長岡／市指定）

長岡の阿弥陀堂の前に、京極満信のものと伝えられる鎌倉時代中頃のほぼ完形の石塔があります。阿弥陀堂は、満信が創建した東福寺の跡です。満信は、京極氏初代氏の三男で、長岡荘を領地としました。二人の息子が長岡荘を分け、宗氏が北半分を相続して長岡氏、宗満は南半分を領して黒田氏を名のりました。



伝京極満信墓

### ■黒田家ゆかりの社寺（中世／本郷）

御屋敷とよばれる黒田氏の居館跡は、1町四方（約108m）あり、水路がとりまいています。神社境内には、土を盛った土壘の跡が一部残っています。江戸時代には代官所として使われました。荒尾神社はもと黒田神社と称し、黒田家の始祖宗満を祀っています。法證寺ももとは法泉寺と称し、黒田家の菩提寺でした。



荒尾神社と法證寺

### ■校区のトピックス —遠州流茶室「燕窓窓」—

江戸時代初期の大名茶人小堀遠州を始まりとする遠州流の茶室が、平成28年に長岡の西福寺に移築復元されました。もとは、江戸時代に長岡村の庄屋を務めた田中家にありました。田中家には、長浜市国友の遠州流茶人辻宗範の設計図などがこっています。幕末の彦根藩主井伊直弼の側近長野主膳を中心とした周辺の文化人など、歴史に名をのこす人々が集うサロンでした。（指定名称「旧田中家新座敷棟」）



遠州流茶室

### 【資料館を利用しよう！】

#### 伊吹山文化資料館

（米原市春照77）

開館時間：9:00～17:00  
休館日：毎週月曜日、祝日の翌日、年末年始  
入場料：一般 200円  
米原市の小中生は無料



1 高くそびえる 伊吹山  
2 希望にひとみ 輝いて  
ねばりづよくて たくましい  
元気なあいさつ こだまする  
やさしい心 むすびあう  
愛の歌声 流れくる  
力あわせて 助けあい  
やれあう 山東小学校  
のびゆく 山東小学校

学校のまわりの宝物⑦

# 山東小学校区

親子探訪ノススメ

【校 区】  
志賀谷、北方、菅江、山室、大鹿、堂谷  
本郷、長岡、万願寺、西山、加勢野

平成29年度埋蔵文化財公開活用事業

# 校区のようす

米原市の中南部にあたり、校区の南端を天野川が流れ、その中流域にあたります。中世には、横山の東西に黒田荘があり、本郷を中心に東黒田とよばれました。また、長岡を中心に長岡荘がありました。多くの集落は、山東盆地とよばれる平坦部にあり、横山丘陵の裾にも集落があります。山東盆地には、標高300~400m級の山地が独立した丘のように点在しています。下向山・愛宕山(長岡)、西ノ山・中ノ山・丸山(池下)、源氏山(池下・加勢野・西山)などで、これらの山々が独特の風景を作りだしています。天野川には特別天然記念物のゲンジボタルが生息し、その保護活動は、大正15年(1926)からはじまり、山東小学校でも、飼育・観察、保護活動を総合的な学習のなかでおこなわれています。

# 校区のあゆみ

菅江の集落の名は、須恵器という灰色をした固い土器を焼いていたことに由来します。横山丘陵には、ほかにも須恵器の破片が散布する場所が知られていて、奈良時代を中心にした須恵器の一大生産地があったのかもしれません。北方田中遺跡や西代遺跡(志賀谷)の調査では、奈良から平安時代にかけての多くの建物が整然と並び、出土品などから、この地方を治めた郷長の役所ではないかと考えられています。長岡には京極満信の墓があり、二人の息子が長岡氏・黒田氏を名乗りました。黒田氏は戦国武将黒田官兵衛の先祖ともいわれ、本郷にはゆかり社寺があります。

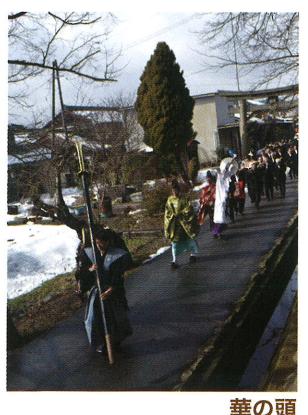
## 山東小学校区アラカルト



山室湿原のサギソウ



天野川のゲンジボタル



華の頭

### 【自然】山室湿原 (市天然記念物／山室)

東西約90m、南北約170m、周囲約500m、面積約1.5haの小規模な湿原です。今から約2.5万年前に成立したと考えられ、湿地性の植物や昆虫などがよく保存されています。

### 【自然】長岡のゲンジボタル (国特別天然記念物)

かつて6月の最盛期には、ホタルの大群で天野川の川面が映えるほど景観でした。しかし、戦後の乱獲や災害による河川工事、河川の汚れなどで、一時絶滅状態でしたが、昭和27年の国指定、地元保存会の努力と保護対策によって守られています。

### 【自然】八幡神社杉並木 (市天然記念物／西山)

八幡神社境内の参道石段の両側に大小17本の杉並木があります。豊臣秀吉の寄進といわれ、樹齢推定400年、いちばん大きい木は二本に分かれ、幹の直径が560センチあります。



八幡神社杉並木

### 【信仰】志賀神社の華の頭 (市無形民俗／志賀谷)

オコナイは集落の豊作・安全などを祈願して1月から3月にかけておこなわれる春を迎える行事です。時代に合わせて場所や日時などが変更され、集落ごとに独自の個性を育みました。志賀谷の華の頭では、格式を守られ、巨大な鏡餅や華の木、独特のオンベ、神の膳などが特徴で、数々の座の儀式が守られています。



播隆名号碑

### 【信仰】播隆上人 (志賀谷)

江戸時代後期に伊吹山を拠点に活動した念佛行者・播隆は、北アルプスの槍ヶ岳を開山したことで知られています。志賀谷の信者が、伊吹山を播隆の修行場所にすることを願い出た文書がのこされています。播隆をしたって人々が山に登り、山麓には志賀谷を中心に、播隆上人の南無阿弥陀仏の軸や石碑があります。



☆遺跡名のあとの番号(番号)は、米原市遺跡リーフレットに対応しています。

★遺跡リーフレットは、伊吹山文化資料館にあります。

1500m

☆遺跡名のあとの番号(番号)は、米原市遺跡リーフレットに対応しています。

★遺跡リーフレットは、伊吹山文化資料館にあります。

1500m